

# 橋本病とは…

(慢性甲状腺炎による甲状腺機能低下症)

## <1>どんな病気なの？

- \* 本来、異物に対して発動される免疫反応が、自分の甲状腺を異物と誤って認識したために、それに対してリンパ球が攻撃し、その慢性的な炎症が長期間続いた結果、甲状腺の破壊が進行して、甲状腺ホルモンの生産が低下することになります。
- \* 約100年前に、橋本Drが、世界で始めて症例報告したため、橋本病といわれるようになりました。

## <2>症状

- \* 甲状腺ホルモンが少なくなるため、バセドウ病とは正反対の状態を示します。
- \* 女性では更年期症状と似ている部分があるため(右表参照)、更年期障害と誤診される事があります。
- \* 女性では20才代から50才代まで、発症率は、ほぼ同じです。(決して中年女性の病気ではありません)

橋本病	更年期障害
易疲労感(全身倦怠感) どうき ゆううつ 手足の冷え(寒さに弱い) 毛髪減少(脱毛) 記憶力低下(認知症) 皮膚の乾燥	のぼせ、発汗 不眠症 のどがつかえる感じ おなかのはる感じ 関節痛、神経痛
発汗減少 ねむくなりがち 舌肥大、かすれ声 便秘 全身のむくみ	

## <3>ホルモンの動き

- \* 甲状腺が抗甲状腺自己抗体による攻撃で炎症を起こして、破壊が進行すると、フリーT<sub>3</sub>、T<sub>4</sub>の生産が低下します。ネガティブ・フィードバックにより下垂体はTSHを大量分泌して刺激しますが、甲状腺はそれに応じて、ホルモンを作れなくなります。

